

2 児童アンケート集計結果・考察

年度ごとの数値は「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合計した割合を示す。

◎は5ポイント以上の上昇 ○は5ポイント未満の上昇

－は1ポイント未満の増減

△は5ポイント未満の下降 ×は5ポイント以上の下降 を示す。

問1 先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれている

H29 97.2% H30 91.5% **R1 94.9%** (○)

肯定的な回答割合は昨年度より上昇しており、ほとんどの児童がわかりやすい教え方であると認識している。一方で、問2「漢字や計算の力がついてきている」、問3「テストでは、思い通りの点数がとれている」の回答状況と連動しており、授業はわかりやすいが結果に結びついていなかったり、わかりやすい授業と思えない児童が思い通りの点数がとれていないと回答しているのではないかと思われる。

児童が学習に対して意欲をもって臨んでいくために、「わかった」「できるようになった」という達成感や満足感を持たせる授業が行えるよう、さらなる「授業力の向上」に努めたい。

問2 漢字や計算の力がついてきている

H29 91.0% H30 92.2% **R1 89.7%** (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、9割の児童は基礎学力の獲得を実感している。今後もわかりやすい授業実践に努めるとともに、さらなる基礎学力の定着を図りたい。

問3 テストでは、思い通りの点数がとれている

H29 67.4% H30 72.0% **R1 69.1%** (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しており、学年によって大きなばらつきがみられる。知識や技能を詰め込むだけの学習で終わらせず、それを活用する力の育成を目ざし、児童が「わかった」「できるようになった」という達成感や満足感を持たせる授業が行えるよう、さらなる「授業力の向上」に努めたい。

問4 進んで運動し、体力づくりをしている

H29 79.2% H30 85.2% **R1 89.0%** (○)

肯定的な回答割合は昨年度より上昇しているが、進んで運動する児童とあまり運動しない児童の二極化が中学年以降大きくなる傾向がみられる。より一層、体育の授業での運動量の確保や業間休みにおける活動等の充実を図り、体力向上に努めたい。

問5 授業中、人の話を集中して聞いている

H29 84.0% H30 89.6% **R1 89.0%** (－)

肯定的な回答割合は昨年度とほとんど変わらない結果であるが、聞くとともに、自分の考えや意見を話す、発表するという伝え合う力の育成を図りたい。

問6 宿題はきちんとしている

H29 95.1% H30 92.9% **R1 90.4%** (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、今後も「家庭学習のてびき」を活用したり、「家でもしっかり学習しよう習慣」を活用し、家庭との連携を図りながら、家庭学習習慣の確立に努めたい。

問7 グループで調べたり、話し合ったりする学習が好きである

H29 80.6% H30 82.5% **R1 82.4%** (－)

肯定的な回答割合は昨年度とほとんど変わらない結果であるが、学習の様々な場面で意図的に取り入れながら、児童の学力を伸ばしていけるよう指導力の向上に努めたい。

問8 テレビやパソコンを使った学習が好きである

H29 92.4% H30 96.5% R1 92.6% (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、9割を超える児童が肯定的な回答をしている。視聴覚教材や情報機器等の教材、教具を適切に活用することで、児童の情報活用能力の育成を図りたい。

問9 自分には、よいところがある

H29 81.9% H30 83.8% R1 80.9% (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、学年によって大きなばらつきがみられる。褒める、話しかける、話を聞く、互いに認め合う場面をつくるなど、児童一人一人を大切にしたい学級経営に取り組むことで、自己有用感を高めさせたい。

問10 先生は、勉強や運動、生活でがんばったときほめてくれる

H29 88.9% H30 87.5% R1 89.7% (○)

肯定的な回答割合は昨年度より上昇しているが、問9「自分には、よいところがある」の回答状況と連動しており、児童同士を互いに協力させて取りませたり、児童が活躍できる場を設定することで、互いに認め合う雰囲気をつくり、自己有用感を高められる取組を図っていききたい。

問11 物事がうまくいかないとき、ねばり強くがんばり続けることができる

H29 83.3% H30 86.7% R1 84.6% (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、学年によって大きなばらつきがみられる。具体的な目標を持ち、自信を身につけ、結果ではなくその過程を大切にできる児童の育成を図っていききたい。

問12 どうしようか迷ったとき、自分の判断で行動するようにしている

H29 84.7% H30 82.5% R1 82.4% (—)

肯定的な回答割合は昨年度とほとんど変わらない結果であるが、やるべきことをしっかりと自分で行い、その上で自分の意思・判断で行動する力が育てられるよう自主性を伸ばすことで、主体性の育成を図っていききたい。

問13 身の回りの整理整頓は、自分でできている

H29 82.6% H30 80.3% R1 87.5% (◎)

肯定的な回答割合は昨年度より大きく上昇しているが、学年によって大きなばらつきがみられる。児童自身が整理整頓の意味をしっかりと理解し、家庭との連携を図りながら指導していくことで、「自分是可以する」という自己肯定感の育成にも繋がっていくと考えられる。

問14 朝は、決まった時間に起きている

H29 79.2% H30 83.2% R1 78.7% (△)

肯定的な回答割合は昨年度より減少しており、学年によって大きなばらつきがみられる。問13「身の回りの整理整頓は、自分でできている」、問26「『早寝・早起き・朝ご飯』を守っている」の回答状況と連動しており、今後とも、家庭との連携に努めたい。

- 問15 先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている
 H29 89.6% H30 93.0% **R1 86.8%** (×)
 肯定的な回答割合は昨年度より大きく減少しており、学年によって大きなばらつきがみられる。「おはようございます」のあいさつから、「ありがとうございます」の感謝の気持ちへとつなげ、家族の一員、地域の一員としての自覚を育てたい。
- 問16 係や当番の仕事、そうじなどは、積極的に取り組んでいる
 H29 93.8% H30 92.3% **R1 88.2%** (△)
 肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、どの学年の児童も与えられた役割はしっかりとこなすことができている。一方で、学年によって大きなばらつきがみられる。
 働くことの楽しさや喜びの体験を積むことによって、自分の役割を果たし、力を合わせて仕事をするこの大切さを理解できるようにするとともに、進んで働くとする態度を育てたい。
- 問17 学級、学校の一員として周りとは協調しながら行動している
 H29 83.3% H30 84.6% **R1 82.4%** (△)
 肯定的な回答割合は昨年度より減少しているが、今後もよい人間関係を築けること、いろいろな人と協調・協力できること、ルールや道徳をしっかり守り規範意識の育成が図られるよう努めていきたい。
- 問18 地域の行事に参加している
 H29 75.0% H30 74.1% **R1 72.8%** (△)
 肯定的な回答が年々減少している。放課後や休日にゆとりの少ない児童も多いが、学校・家庭・地域が一体となって、お互いに深く関わり合いながら、地域行事参加の効用について保護者への啓発を引き続き実施したい。
- 問19 先生は困ったり悩んだりしたときには、相談にのってくれる
 H29 91.0% H30 85.8% **R1 89.0%** (○)
 肯定的な回答が昨年より上昇しているが、教師と児童一人一人の人間関係をより望ましいものにするためには、教師から認められることを喜びと感じたり、学級にいることへの不安感が取り除かれることによって、大きく変化する。今後とも、教師と児童、児童同士の人間関係づくりに努めたい。
- 問20 学校へ行くのが楽しい
 H29 81.3% H30 76.8% **R1 80.1%** (○)
 肯定的な回答が昨年より上昇しているが、一人一人の児童に心を配り、常に温かい雰囲気、協働的な関係で結ばれ、どの児童にとっても「学校が楽しい」と思えるような集団や校風をつくっていきけるように取り組みたい。
- 問21 事故などにあわないよう、いつも気をつけている
 H29 92.4% H30 97.9% **R1 94.1%** (△)
 肯定的な回答が昨年より減少しているが、交通の危険性に対する認識がまだ十分ではないため、様々な機会を通じて、今後とも継続的に安全教育に取り組みたい。
- 問22 避難訓練などは、真剣に取り組んでいる
 H29 96.5% H30 94.4% **R1 95.6%** (○)
 肯定的な回答が昨年より上昇しているが、防災教育は学校だけでなく、家庭での話し合いが重要である。いつ、どこで起こるかかわからない災害に向けて、家庭や地域と連携した避難訓練等をおこなうことで、「自助」の意識を高めたい。

- 問23 いじめはどんな理由があってもいけないことである
 H29 96.5% H30 95.8% **R1 97.1%** (○)
 肯定的な回答が昨年より上昇しており、ほとんどの児童が「いじめはいけない」と考えている。今後もいじめを許さない態度、思いやりのある心を育むよう人権教育、道徳教育をより一層推進したい。
- 問24 本をよく読んでいる
 H29 74.3% H30 82.3% **R1 85.3%** (○)
 肯定的な回答が年度ごとに上昇している。その要因として、毎週継続しておこなってくださっている「本の読み聞かせ」、学校図書館サポーターの支援、「多読賞」の表彰等、読書の奨励が考えられる。今後も、ボランティアの方々、学校図書館サポーター等と連携し、読書好きの児童を育てていきたい。
- 問25 インターネット（スマホ、動画等）のルールを守っている
 H29 83.3% H30 85.3% **R1 84.6%** (—)
 肯定的な回答割合は昨年度とほとんど変わらない結果であるが、今年度アンケート調査を実施したり、情報モラル教育に取り組んできた。今後も、保護者と連携しながら、取り組みたい。
- 問26 「早寝・早起き・朝ご飯」を守っている
 H29 77.1% H30 80.2% **R1 81.6%** (○)
 肯定的な回答が年度ごとに上昇している。児童の基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上をめざし、今後とも、家庭との連携に努めたい。
- 問27 学校でのできごとを家でよく話している（新設）
 H29 質問なし H30 質問なし **R1 77.9%**
 今年度新設の質問項目である。肯定的な回答割合は学年によって大きなばらつきがみられる。児童の学年が上がるにつれて、保護者と話す機会も少なくなっていく傾向にあるが、家庭で児童との会話の時間を増やせるような話題づくりができるように努めていきたい。